- **2025年10月改訂(第9版)
- *2023年 2月改訂(第8版)

機械器具 6 呼吸補助器 管理医療機器 麻酔回路セット (JMDNコード 70567000)*

F&Pシングルユース麻酔回路

(RT109, RT116)*

再使用禁止

【禁忌·禁止】

* • 再使用禁止[感染性物質の伝播、治療の中断、重篤な健康被 害が発生したり死亡したりするおそれがあるため]。

*【形状・構造及び原理等】

- 1. 構成品
- *(1) 送気チューブ(RT109に圧力測定用ポートはなし)



アダプター



(3)圧ライン



* 圧ラインはポリ塩化ビニル(可塑剤:トリメリット酸トリ-2-エチル ヘキシル)を使用している(主要文献1参照)。 本品には天然ゴムラテックスを使用していない。

2. 動作原理

使用目的に合わせ、構成品を選択してガス供給源と組み合わ せて使用することにより、患者にガスを供給する。

* 3. 仕様

	圧縮容量	1.14L				
**	コンプライアンス	付属品無		2.3 ± 0.22		
	(60cmH ₂ O)			mL/cmH₂O		
	(不確かさ0.02	付属品有		2.5 ± 0.22		
	<u>mL/</u> cmH₂O)	(RT116 のみ)		mL/cmH₂O		
		付属	吸気側	$0.124 \pm 0.02 \text{ cmH}_2\text{O}$		
	流量抵抗	品無	呼気側	$0.128 \pm 0.02 \text{ cmH}_2\text{O}$		
	(30L/分、不確か	付属 品有	呼気側			
	さ 0.03 cmH₂O)		(RT116	$0.127 \pm 0.02 \text{ cmH}_2\text{O}$		
			のみ)			
	長さ	吸気側		1.5 m		
	女で	呼気側		1.5 m		
	ガスリーク		/10) mL/分		
	(@60cmH₂O)		\40			
	最小内径		2	20mm		

*【使用目的又は効果】

麻酔器等に接続し、麻酔中の呼吸管理に用いること。

【使用方法等】

- 1. ポール、固定台などを用いて麻酔器などの関連機器を適切な 位置に配置し、各装置に必要な接続を行う。
- * 2. 構成品を選択する。なお、Y ピースは送気チューブに接続され ているが、使用前に接続を確認すること。
 - 3. 送気チューブをガス供給源に接続する。この際、必要に応じて アダプターを用いること。
- * 4. 必要に応じて圧ラインをYピースの圧力測定用ポートと測定装 置の圧力測定用ポートに接続する。
 - 5. 関連機器の操作方法に従い、安全性を確認した後、送気チューブ の端を患者に接続するためのインターフェース(マスクなど)に接 続する。

使用方法等に関連する使用上の注意

- * 1. 常に適切な患者モニタリング(酸素飽和度など)を行うこと[患者 を監視しない場合、健康被害が発生するおそれがあるため(ガス フローが中断された場合など)]。
- * 2. 人工呼吸器等のアラームを適切に設定すること。
 - 3. 患者に接続する前および使用中に、ガスが供給されていることを 必ず確認すること。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- * 1. 本品を洗浄、滅菌したり、アルコールを含む化学薬品、洗浄剤、手 指消毒剤などを本品に接触させたりしないこと。
- * 2. 呼吸回路を引っ張ったり、ねじったり、潰したりしないこと。
- * 3. 圧ラインを用いる際、圧ラインに水滴が流入しないよう、圧ラインの 差込口が常に上になるように設置すること(主要文献2参照)。
- * 4. 圧ラインに水滴が見られた場合には速やかに取り除くこと[水滴で 圧ライン内が閉塞し、アラームが誤作動したり、適切な換気が維持 されないなどのおそれがあるため](主要文献2参照)。
- * 5. 本品を他の機器と使用する場合は、接続部が確実に接続され、 患者に接続する前に閉塞やリークなどが生じていないことを、 圧力テストやリークテストで確認すること。また、使用中にも確 認すること「閉塞やリークにより、呼吸に障害が生じるおそれが あるため]。

不具合·有害事象

- 1. 重大な不具合 回路接続部の緩み・はずれ、閉塞、ガスリーク、破損
- ** 2. 重大な有害事象
 - 低酸素血症、低酸素症、皮膚熱傷、気道熱傷、気道損傷、肺損 傷、電擊傷、筋骨格損傷、低体温症
 - 3. その他の有害事象 皮膚の発赤、アレルギー反応、感染症

【保管方法及び有効期間等】

- * 保管方法
- * 保管温度:-10~50℃

使用期間

- 1. 適切な保管方法で保管する時、製造日より 5 年(箱のラベルお よび直接の被包記載の製造年月日を参照)。
 - 2. 本品は7日間を限度に新品と交換すること。

【主要文献及び文献請求先】

- 1. 医薬安発第 1017001 号「ポリ塩化ビニル製の医療用具から溶出 する可塑剤(DEHP)について1(2002年10月17日、厚生労働省)
- 2. 薬食安発 0825 第 2 号•薬食機発 0825 第 6 号「人工呼吸器呼吸 回路における気道内圧モニター用チューブに係る添付文書の 自主点検等について」(2009年8月25日、厚生労働省)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】



製造販売業者(文献請求先も同じ) Fisher & Paykel Healthcare 株式会社 電話番号 03-5117-7110

外国製造業者

[販売業者(販売店)]

Fisher & Paykel Healthcare Limited フィッシャー・アンド・パイケル・ヘルスケア・リミテッド ニュージーランド